



たてくろジオパーク だより 第27号

発行：立山黒部ジオパーク協会 事務局

〒930-0856 富山市牛島新町5-5 タワー111ビル1階 ☎076-431-2089 📠076-482-3204

✉ info@tatekuro.jp

🌐 https://tatekuro.jp/

📘 https://facebook.com/tatekuro

■土日祝日にジオガイドが「うなジオ」に常駐します（4/25（土）～）

立山黒部ジオパーク交流施設 わくわく広場「うなジオ」に、今年度も4月25日（土）からの土日祝日にジオガイドが常駐しています。施設内の解説や宇奈月温泉街周辺のガイドを行っていますので、宇奈月にお越しの際はぜひお立ち寄りください。

【立山黒部ジオパーク交流施設 わくわく広場「うなジオ」】

- ・黒部市宇奈月温泉 638（富山地方鉄道宇奈月温泉駅近く）
- ・開館時間：9:30～16:00（4月～6月）、9:30～16:30（7月～9月）
- ・休館日：水曜日、木曜日（祝日・お盆期間は開館）
- ・お問合せ先：090-6818-4572



■第1回立山黒部ジオパーク「サイト」に関する勉強会を開催しました

立山黒部ジオパークでは、活用しながら未来へ伝えていくべき価値のある地域遺産として、ジオ、自然、文化あわせて109のサイトを指定しています。そこで、サイトについての理解を深め、よりよい活用の方向性を探すことを目的とした、「サイト」に関する勉強会を開催することになりました。勉強会では、ジオパークのサイトやそれに関する事柄の中から毎回テーマを決め、テーマに関する講演並びに調査研究、活用に関する意見交換を行います。第1回目のテーマは、富山湾の春の風物詩「蜃気楼」です。立山黒部ジオパークでは、蜃気楼に関するサイトとして、「御旅屋跡・大町海岸公園（加賀藩主蜃気楼展望地）」を文化サイトに指定しています。勉強会では、魚津埋没林博物館の学芸員の石須秀知さんから魚津浦の蜃気楼の歴史についてお話いただき、同じく魚津埋没林博物館学芸員の佐藤真樹さんからは蜃気楼の基本や最新の蜃気楼研究についてお話いただきました。参加者からは、蜃気楼の価値や活用の難しさや課題などについて、活発な意見交換が行われました。



■歩いて手繰る立山黒部ジオパーク見聞録の原稿が完成しました

2018年より作成を進めていました、立山黒部ジオパークのガイドブック「歩いて手繰る立山黒部ジオパーク見聞録」の原稿が完成しました。

本書では、立山黒部ジオパークを語る上で欠かせない魅力的な場所・コースから26ヶ所を選出し、①山岳、②山間部、③扇状地～平野、④海の4つのエリアに分けて紹介しています。執筆者は立山黒部ジオパーク協会の個人会員や地域の大学生から成る14名の「執筆ボランティア」です。彼らが実際に現地へ赴いて調査したことに基づき、“この場所では何が、なぜ魅力なのか”を議論しながら執筆に臨みました。これにより一般の人の視点から感じ取った各地の魅力が表現できたのではとみています。また、本書にはテーマごとに専門家の解説が入っています。これらの解説は執筆ボランティアによる見聞紀行文の内容を深く理解するうえで不可欠で重要な知識ベースになっています。さらに、読者が立山黒部ジオパークのそれぞれの地点へ訪れやすいよう、紹介した場所の地図とともに現地へのアクセス方法や安全上の注意などの情報を盛り込んでいます。本書が、立山黒部ジオパークを探訪しその魅力を堪能していただける手掛かりとなれば幸いです。また、本書を読むことで、現地に行けない場所や日ごろ何気なく通過している場所についてもジオ的視点をもって見つめなおすことができ、なんと素晴らしい宝物であるかと気付かされると思います。

この見聞録の原稿を2年間という短い期間で完成させることができたのは、本ジオパークの魅力を発信したいという関係者の熱意の賜物であると思います。今後は諸々の最終チェック等を済ませた後、印刷行程に進みます。本として発刊する9月頃には、皆様が手にとることができる予定です。本書が立山黒部ジオパークエリアの魅力を発信し、様々な活動に活用していただけるようになることを願っております。



内蔵助氷河



弥陀ヶ原



八尾のカキ化石床



大岩山日石寺の六本滝

退任のごあいさつ：3年間お世話になりました！

(一社)立山黒部ジオパーク協会 専門員 山岡 勇太

この度、3月をもちまして、立山黒部ジオパーク協会を退職することとなりました。

私が富山に来たのは、今からちょうど3年前の春のことでした。その日は晴天で、美しい立山連峰が背後に堂々とそびえていました。そのあまりの迫力に、思わず息を呑んだことを覚えています。

富山に来てからは、仕事もプライベートもそれまで経験したことのない挑戦の連続でした。中でも、富山に来て登山の楽しみを知り、趣味のひとつにできたことは大きな収穫だったと思います。仕事では、立山黒部ジオパーク協会の専門員として、教育普及活動や広報啓発活動、ジオツアーの企画などを担当してきました。学校教育では、多くの学校に講師としてお招きいただき、子供たちと共に地域の魅力を楽しく学ぶことができました。普及啓発活動では、立山黒部ジオパークの魅力を発信する広告塔として、多くの講演会のみならず、ラジオ番組にも出演させていただきました。中でも楽しかった業務は、実際に野外に出かけて、学生やお客様に現地を案内するという仕事でした。高低差4,000mの大自然の中で、地球の活動の壮大さや、今見えている景色の尊さを伝えていく中で、私自身も改めてこの地域のすばらしさに気づくことができました。これまでの私の活動によって、1人でも多くの方が立山黒部ジオパークの魅力に改めて気づき、この地域をより好きになっていただけたのであれば、本当に嬉しく思います。

時には、業務がうまくいかないこともありましたが、その度に多くの方々に助けられ支えられ、無事3年間勤め上げることができました。この仕事を通して得た経験は、今後私の貴重な財産となると思います。

4月からは、埼玉県秩父の長瀬にある「埼玉県立自然の博物館」で、無脊椎動物化石の学芸員を務めることとなりました。今後は、立山黒部ジオパークでの経験を活かし、地球の面白さや、その大切さを広く伝えていきたいと思えます。

最後に、これまでお世話になった皆様方に心から感謝を込めて、退任のご挨拶とさせていただきます。本当にありがとうございました。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK



扇状地が育む豊富な地下水 ～人々の生活を潤してきた清水～

黒部市生地から入善町吉原にかけての海岸にほど近い地域では、清冽な地下水が至る所で湧き出し、古くから人々の生活に利用されてきました。この湧水地帯は黒部川がつくった黒部川扇状地の端に位置しており、「黒部川扇状地湧水群」として昭和の名水百選に選定されています。

ところでこの水は一体どこからやってくるのでしょうか。そのヒントは湧水地帯がある「扇状地」にあります。扇状地は、上流から運ばれた石や砂がたまってできた、扇のような形をした土地です。石や砂でできた扇状地は、川や雨の水が地下に浸透しやすく、大量の地下水が生まれます。黒部川扇状地の地下では、約30年の歳月をかけて地下水が流れ下り、扇状地の端に位置する海岸の近くや海底で湧き出しています。地下を通ってきた「冷たくておいしい水」は、人々を潤し、貴重な自然を作り出しています。



清水庵の清水

■ 協会会員企業の紹介

立山黒部ジオパーク協会の会員企業を、五十音順（昇順、降順で各1社ずつ）でご紹介していきます。

解体する。運ぶ。活かす。つくる。

「解体」は、新たなものを生み出す出発点です。

役目を果たした古い建物を解体し、その土地に新たな息吹を吹き込みます。

現場で出た廃棄物は、選別して処理施設へと運び
再び資源となって活用されます。

森崎グループの「こわす」「はこぶ」「いかにす」「つくる」の4つの技術は
快適なまちづくりや資源循環の要所に活かされています。



その先の未来へ。

Morisaki

森崎グループ

株式会社 森崎

URL: <http://www.k-morisaki.com/>

富山市向新庄町三丁目7番22号 TEL:076-451-4563 FAX:076-451-8296

株式会社 エコモ

・本社環境事業本部 ・立山RC事業所
・舟橋RC事業所 ・上市チップセンター

富山市向新庄町三丁目7番22号 TEL:076-471-8298 FAX:076-471-8298

森崎開発株式会社・ふれあい農園・北陸機販サービス株式会社

4. 物販事業



1. 廃棄物収集運搬処理事業



株式会社 石橋

地球のためにできること
人のためにできること

【関連会社】

(株)アースクリエーション
●乳酸菌消臭剤製造
(国内・中国・韓国・ASEANに展開)



2. 建物総合管理事業



3. 指定管理事業



●介護事業
(株)とやまヒューマンサービス



〒930-2201 富山市草島15-14 TEL: 076-435-1145 FAX: 076-435-1174

会員を募集しています！

立山黒部ジオパーク協会では、富山県東部地域の魅力を世界へ発信するために、民間活力を活かしたジオパーク活動を行っています。私たちの活動を支援して下さる方、手助けをして下さる方をお待ちしています。



立山黒部ジオパーク
TATEYAMA KUROBE GEOPARK

